

**京おんなよ万華鏡**

「京おんな」という言葉は、単なる美人像を彷彿させるのではなく——才色を兼ね備えた理想の女性像として

**■講座紹介**

<b>第一回</b>	五月十日(日) 東男と京女 芳井 敬郎 花園大学 副学長・教授
<b>第二回</b>	五月十七日(日) 諸芸の女 大田垣蓮月 杉本秀太郎 国際日本文化研究センター名誉教授
<b>第三回</b>	五月二十四日(日) 松園が描いた女 上村 淳之 京都市学校歴史博物館 館長・創画会理事長
<b>第四回</b>	五月三十一日(日) 幕末動乱と女性 松田 隆行 花園大学文学部 准教授
<b>第五回</b>	六月七日(日) 近代京都の女子教育 —キリスト教女学校を巡って— 本井 康博 同志社大学神学部 教授
<b>第六回</b>	六月十四日(日) 銀幕に映る京女 中島 貞夫 映画監督
<b>第七回</b>	六月二十一日(日) はんなり・極上のむてなし —祇園と女性— 桐木 千寿 華道家・祇園 花彩オーナー
<b>第八回</b>	六月二十八日(日) 政治を動かした女 日野富子 田端 泰子 京都橘大学 学長
<b>第九回</b>	七月五日(日) 衣通姫の流れ —女流歌人の系譜— 小林 一彦 京都産業大学文化学部 教授
<b>第十回</b>	七月十二日(日) ぐぐつ・曲舞・白拍子 —中世の女性芸能者— 脇田 晴子 石川県立歴史博物館 館長

**実地講座** 6/20(土) 11時半～13時 希望者のみ20名限定(要別途費用)

**開催日時:**  
2009年5月10日(日)～7月12日(日)14時～15時半  
【実地講座は、6月20日(土)11時半～13時】

**開催場所:**  
キャンパスプラザ京都4階 第2講義室  
【現地講座は、たん熊本家にて開催】

**財団大学コンソーシアム京都  
法人 The Consortium of Universities in Kyoto**

**京カレッジ 京都力養成コース「プラザカレッジ京都学講座」**

皆様にご好評をいたしました「プラザカレッジ講座」は、2009年度より「京カレッジ」京都力養成コースの1講座として開講することになりました。皆様には、これまで同様に受講いただきますようよろしくお願いいたします。

**■受講申込について**

- ①事前申込にて全10講座分の受講申込を受付いたします。  
(ご注意) 1講座毎の単発での受講申込(講座当日の申込を含む)は受付いたしませんので、ご了承ください。(定員250名)
- ②実地講座(6/20)は、希望者のみを対象としますので、第1回講座時(5/10)に参加の希望を募ります。  
(定員20名。希望者多数の場合は、抽選とします。)

**■受講申込方法**

受講申込受付期間中に、下記の書類(出願用紙、顔写真(縦3cm×横2cm)1枚)を郵送または窓口までご持参ください。

- ①「2009年度 京カレッジ出願用紙」  
氏名(フリガナ)・性別・生年月日・職業・現住所・緊急連絡先(勤務先等)・出願希望大学・科目番号・科目名・講座種別を必ずご記入ください。  
(注1) 出願希望大学には、「大学コンソーシアム京都」とご記入ください。  
(注2) 科目番号には、「MO07」とご記入ください。  
(注3) 科目名には、「プラザカレッジ京都学講座『京おんな 万華鏡』」とご記入ください。  
(注4) 講座種別は、「京都力養成コース」に○を記入ください。
- ②「京カレッジ会員証用顔写真(縦3cm×横2cm)1枚
- ③(大学コンソーシアム京都の加盟大学、短期大学の正規学生のみ)学生証のコピー

**■個人情報の取扱について**

皆様の個人情報は事務局が責任をもって管理し、受講に関する書類送付や講座運営、ならびに財団法人大学コンソーシアム京都が主催する催事等のご案内以外には使用いたしません。

**■受講に係る注意事項**

天候等やむを得ない事情により、講座が中止もしくは延期となる場合がございます。あらかじめご了承願います。詳細は2009年度京カレッジ生募集ガイド(3月12日以降発行)を参照願います。

**■受講申込受付期間**

- 郵送の場合:  
3月12日(木)～3月28日(土)(必着)
- 持込の場合:  
3月21日(土)～3月28日(土)  
《3月23日(月)は休館日のため受付しません》  
(注1)持込時の受付時間:9時～17時  
(注2)持込時の受付場所:キャンパスプラザ京都1階

**■申込先**

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都  
(財)大学コンソーシアム京都 教育事業部  
(京カレッジ担当) 宛  
※郵送の場合は専用の封筒をご利用ください。(専用の封筒がない場合は、市販の封筒に上記の送付先をお間違えないよう記入ください。)

**■受講可否通知**

受講の可否については、3月28日に申込を締切した後、選考を行い、4月中に受講可否通知を郵送いたします。  
(応募者が定員を超過した場合は、抽選とします。)

**■受講手続**

受講が許可された方には、受講料の支払方法(銀行振込)についても併せてご連絡いたします。受講料を納入された方には、「京カレッジ会員証」(又は仮会員証)を郵送いたしますので、毎回講座を受講する際は、必ずご持参ください。

**■受講料**

全10講座 10,000円  
(ただし、大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の正規学生に限り受講料を無料とします。通信教育課程の受講生、科目等履修生、聴講生は受講料が必要です。)

●実地講座(6/20)参加者のみ、別途6,000円(第1回講座時に詳細ご連絡)

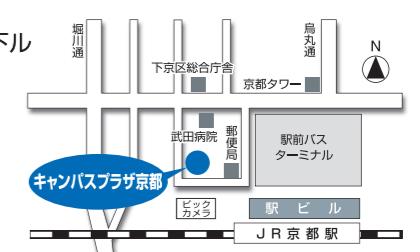


●お問い合わせ先

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル  
キャンパスプラザ京都  
※月曜日は休館日です。  
<http://www.consortium.or.jp/>  
TEL 075-353-9140  
FAX 075-353-9121



財団 大学コンソーシアム京都  
法人 The Consortium of Universities in Kyoto



# 京おんなん 万華鏡

『京おんなん』という言葉が与えるイメージは、単なる美人像を彷彿させるのではなく、才色兼ね備えた理想の女性像という1つの姿を創りあげてきたのではないかだろうか。京の女性『京おんなん』について多角的に講演していきます。

■開催日時：  
2009年5月10日(日)～7月12日(日) 14時～15時半  
【実地講座は、6月20日(土)11時半～13時】

定員  
250名  
事前申込制

## 1 第一回 五月十日(日) 14:00-15:30

### 東男と京女

芳井 敬郎氏

花園大学副学長・教授



■講座概要  
今日と変わらず、江戸(東京)の人は京都に興味があったようである。残存する数々の京都見聞記から明らかである。その京で、江戸の男はとりわけ京女に惹かれた。江戸の女性に比べて色が白く、肌がきめ細かいと述べ、そのもつとも美しい数々の根拠をあげている。それらの根拠は他国の人たちが持つ京都へのイメージで作り上げたものである。すなわち、美しいといわれる京女は土地柄とオーバーラップすると考えられる。そこで、本講演では京女を軸に、京都に対する江戸人の心象を語ることにする。

■略歴

1947年大阪市生まれ。國學院大學文学部史学科卒業。花園大学文学部教授・副学長。日本文化史、民俗学専攻。

主な編著書『民俗文化複合体論』・『織物技術民俗誌』・『祇園祭』(編著)等。  
「第24回日本民俗史学会江馬賞受賞」

## 2 第二回 五月十七日(日) 14:00-15:30

### 諸芸の女 大田垣蓮月

杉本 秀太郎氏

国際日本文化研究センター  
名誉教授



■講座概要  
大田垣蓮月(寛政3年1791～明治8年1875)は、伊賀上野城代藤堂新七郎良聖の子として京都に生まれた。名は誠(のぶ)。再婚した夫と死別した三十三歳、知恩院で尼となった。自活の道を求める、陶器、書、和歌の一体化した蓮月焼によって独自の境地を開いた。

富岡鉄斎(天保7年1836年～大正13年1924)は少年時代から蓮月の慈愛に浴し、生涯それを糧として文人画家となり大成した。

■略歴

京都大学文学部仏語仏文学科卒業、同大学院文学研究科修士、京都女子大学教授を経て、国際日本文化研究センター教授、2006年定年退職し同センター名誉教授。同年、日本芸術院会員に推挙される。日本エッセイストクラブ賞(「洛中生息」)芸術選奨文部大臣新人賞(「文学演技」)読売文学賞(「徒然草」)大佛次郎賞(「平家物語」)

## 4 第四回 五月三十一日(日) 14:00-15:30

### 幕末動乱と女性

松田 隆行氏

花園大学文学部日本史学科  
准教授



■講座概要  
ペリー来航とともに、幕末の動乱が始まる。条約勅許問題と將軍繼嗣問題の発生によって、京都の朝廷は深く政治に関与し始める。勅許なき通商条約調印によって高揚した尊王攘夷運動は、安政の大獄によって弾圧されたが、京都はその舞台であった。

その後、幕府は公武合体路線に転換し、和宮降嫁が実現する。しかし、文久年間にになると、京都で「天誅」が横行し、尊王攘夷運動は最高潮に達し、京都は政治の中心地の觀を呈した。

こうした幕末の動乱に深く関わった女性には、村山可寿江(たか)、和宮、天璋院(篤姫)などがある。

本講義では、彼ら女性に注目して、幕末の動乱と京都について考えてみたい。

■略歴

平成9年(1997)3月慶應義塾大学大学院文学研究博士課程史学専攻日本史分野単位取得退学。  
平成14年(2002)4月花園大学文学部史学科専任講師  
平成16年(2004)4月花園大学文学部史学科助教授  
平成19年(2007)4月花園大学文学部史学科准教授  
平成20年(2008)4月花園大学文学部日本史学科准教授

## 3 第三回 五月二十四日(日) 14:00-15:30

### 松園が描いた女

上村 淳之氏

京都市学校歴史博物館 館長  
創画会 理事長



■講座概要  
世阿弥の創った能楽の世界に登場する女性像の中に理想像を求めた大作「花筐」「焔」「楊貴妃」「砧」「草紙洗小町」「静」等があるが、中小の作品もその周辺の人物といっても良い。

姿、形ではなく内面の描写に心血をそそぎ現実空間の再現に悩む事を戒めての作画であったが、母親の姿がようやく絵になるようになって市井の人物像を描くようになったと語っている。

■略歴

京都市立美術大学(現、芸術大学)卒、同学専攻科修了。新制作協会、創画会に属し、出品を重ね昭和56年同会会員。

平成7年日本芸術院賞受賞。  
平成14年日本芸術院会員。  
「第24回日本民俗史学会江馬賞受賞」

## 5 第五回 六月七日(日) 14:00-15:30

### 近代京都の女子教育 —キリスト教女学校をめぐって—

本井 康博氏

同志社大学神学部  
教授



■講座概要  
明治維新後の京都は、「東京」に対して「西京」を目指した。教育による復興もその一環であった。小学校に統いて英学校(男子校)や女紅場を設立した。こうして公立学校のほかに、ミッション・スクール(女学校)も開かれた。これら私学はいかなる女性観のもとに、何を目的としてあえて開校に及んだのか、その中身を検証してみたい。

■略歴

同志社大学神学部教授。神学博士。1942年愛知県生まれ(66歳)。同志社大学大学院経済学研究科修士課程修了。専門は日本プロテスタント史、とくに新島襄ならびに同志社史やミッションの歴史(アメリカン・ボード研究)。同志社大学では主として「新島襄と建学精神」、「同志社人物列伝」、「新島襄の交遊」などの「同志社科目」群を担当する。これまで同志社大学から「新島研究功績賞」(2回)、「新島研究論文賞」(1回)を受賞。著編書は30冊を越える。現在、講演集「新島襄を語る」シリーズ全10巻(思文閣出版)を刊行中(既刊6巻)。

■開催場所：  
キャンパスプラザ京都4階 第2講義室  
【現地講座は、たん熊本家にて開催】

## 6 第六回 六月十四日(日) 14:00-15:30

### 銀幕に映る京女

中島 貞夫氏

映画監督



■講座概要  
京都映画100年の歴史の中には、京に生きた女性を主人公とした作品も多数存在する。本講座では、その中から時代背景や生活環境の異なるいくつかの代表的作品を取り上げ、つくり手がどのような視点から京に生きる女性を描こうとしたのかを検証してみたい。又、拙作「序の舞」で、私自身、京に生きた女性をどう描いたかについて、その製作過程を追いながら自己言及を試みることにする。

■略歴

1934年千葉県生まれ。東京大学文学部美術史学科卒業、(株)東映入社、京都撮影所助監督となる。1964年「くの一忍法」にて監督。監督作品に「893愚連隊」「日本の首領・3部作」「序の舞」「瀬戸内物語」「極道の妻たち・危険な賭け」等61本。他に映画脚本、TV演出・脚本多数。現在、京都映画祭総合プロデューサー。KBSTV「中島貞夫の邦画指定席」ナビゲーター。

## 8 第八回 六月二十八日(日) 14:00-15:30

### 政治を動かした女 日野富子

田端 泰子氏

京都橘大学  
学長



■講座概要  
応仁・文明の乱については、近年新しい見解が出て、論争が活発になりつつある。しかし乱の中心人物の一人である日野富子についての評価は、芳しいものとはいえない今まで定着しつつある。この講座では、富子の活動のなかでも目覚ましかった政治の面に焦点を当て、富子誕生のころの日野家の位置について考え、応仁の乱に至る富子の行動を追い、乱中、乱後の富子の政治関与について考察してみたい。あわせて日野富子という女性の実像に迫ってみたいと思う。

■略歴

兵庫県立神戸高等学校卒業(1960年)。京都大学文学部史学科国史学専攻卒業(1964年)。京都大学大学院文学研究科博士課程国史学専攻単位修得満期退学(1969年)。文学博士の学位授与(京都大学:論文博集216号)。(1989年)。橘女子大学(現京都橘大学)文学部講師(1969年)、助教授を経て教授、現在に至る。

## 10 第十回 七月十二日(日) 14:00-15:30

### ぐぐつ・曲舞・白拍子 —中世の女性芸能者—

脇田 晴子氏

石川県立歴史博物館  
館長



■講座概要  
中世の芸能者といえば、女性が中心である。遊芸を主とするものとしてまず、傀儡子女(ぐぐつめ)が出てくる。かれらは集団をなして、男は狩猟、女は舞踊をなして巡業する。そのなかでの名人が京都に上り名声をえた。傀儡子女(ぐぐつめ)のなかから白拍子が出てくる。有名な白拍子の仮御前は加賀の出身とされるが、静御前は京都都育ちではなかろうか。鎌倉末期ごろから曲舞が流行る。その棹尾を飾り、歌舞伎を創始したのが出雲のお国である。

■略歴

昭和9年(1934)兵庫県西宮生まれ。神戸大学文学部卒、京都大学大学院修士・博士課程修了・京都大学文学博士。京都橘女子大学・鳴門教育大学・大阪外国语大学・滋賀県立大学の教授をへて現在、城西国際大学客員教授・石川県立歴史博物館館長。文化功労者。英國オックスフォード大学・セントヒルダス・カレッジのフェロウ、仏社会科学高等研究所研究員等も勤む。

## 実地講座 六月二十日(土) 11:30-13:00

### 京の女将

栗栖 晴子氏

たん熊本家(株) 女将 取締役



■講座概要  
京生まれの京育ち、京おんなならではのおもてなしのエッセンスを裏話と共に伝えたいと思います。女将の仕事は元祖ツイーンカム、素人出身の女将の生きざまは平成のキャリアアーサーと通じる所が多くございます。当日はときときの室礼とご一緒におもてなしの心が結集した当店のお料理もお楽しみいただきます。東山、鴨川の美しい景色をながめながらステキな時間をお過ごしくだされば幸いに存じます。

■略歴

昭和31年京都市に生まれる。京都女子大学文学部教育学科(初等教育学専攻)卒業後、ピアノと電子オルガンの講師として音楽教室と自宅で指導にあたる。(株)たん熊本家栗栖櫻三郎と結婚後、初代女将 栗栖フミ子の指導のもと次期女将となり今に至る。

■コーディネーター 吉澤 健吉 氏  
京都新聞総合研究所 所長